

## 「おいしさ一番！の米づくり」を目指して 健苗づくり&土壌環境づくりで土台固め！

### 1. 過保護はダメ！がっちり苗に仕上げましょう

【気象庁1か月予報：平均気温：4/24～30 平年並み50%、5/1～7 平年より低い40%】  
今年は寒暖差の大きい気象となっています。毎日天候予報をチェックし、気温の高い日は、早めにハウスの開放、被服資材等の除去を行いましょう。

【育苗期間の温度管理】

	昼間	夜間	注意点
緑化期 (出芽後 2～3日)	25℃	10℃	○外気温が25℃以上の日は苗ヤケ要注意！ 早めにハウスを開ける。遮光資材を使う。 ○低温時には保温に努める。
緑化期以降	20～25℃	8℃以上	○霜が予想される場合は早めに ハウスを閉める。

- かん水は午前中に1回が基本です。夕方からのかん水は根張り不良となるため避けましょう。
- プール育苗では1.5葉期から入水します(床土の高さ)。2葉期以降は常時湛水し、箱上1cm程度の水深とします。苗が伸びやすくなるため、ハウスを開放して管理しましょう。
- 田植え前1週間前は霜が降りない限り、夜間も外気に慣らすようにしましょう。

### 2. 食味重視の施肥を徹底しましょう

○過剰施肥は生育後半に窒素の遅効きを招き、食味を低下させる危険があります。一度入れたものは、取り除けません。品種ごとの施肥基準(下表)を確認し、適正施肥に心がけましょう。

※**基肥一発肥料を使用する場合は、品種ごとの「基肥+追肥」の基準施用量を超えないよう注意！**

○ケイ酸資材は①根の活力維持、②登熟能力の向上、③いもち病抵抗性向上の効果が期待できます。土壌pHの改善にも有効です。積極的に施用をおこないましょう！

【施用のめやす】**ケイカル 100～120 kg/10a、ようりん 30 kg/10a**

○根張り向上による土壌養分の供給力増加や、登熟不良・品質低下軽減のために、**耕土深15cm**を目標に耕起を行いましょう。トラクターの耕起スピード、踏圧にも注意！

表 品種別の基肥量(窒素量)の目安

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち
窒素成分量 (kg/10a)	5～6	3～4	4～5	3～4	4～5	5～6



## STOP! 農作業事故!

～春季運動強化期間中～